

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目



項目コード	検査項目名
2106	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)
3321	単純ヘルペスウイルス DNA 定性

※変更内容の詳細は次頁をご確認ください。

#### ■変更期日

- 2022年5月2日(月)受付日分より

## ■変更内容一覧

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧	備考
35	2106	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	案内書備考欄	ACTHはEDTA濃度増加により測定値が低下するため、容器の指定容量を採取してください。採血後、速やかに血漿分離してください。	ACTHはEDTA濃度増加により測定値が低下するため、容器の指定容量を採取してください。	添付文書に沿った検体処理方法へ変更
63	3321	単純ヘルペスウイルスDNA定性	ぬぐい液の容器変更	滅菌ポリスピッツ 	容器番号49  SDS EDTA-2Na入り 容器容量(10mL) 貯蔵方法 室温	使用実績に鑑み、容器変更
			保存	ぬぐい液:凍結	ぬぐい液:室温	
			案内書備考欄	血液: 凍結保存は避けてください。 ぬぐい液: 患部をぬぐった滅菌綿棒を1mLのPBSまたは生理食塩水が入った滅菌ポリスピッツに入れ、そのまま凍結保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。	血液検体の凍結保存は避けて下さい。必ず遺伝子検査の専用検体としてご提出下さい。 ぬぐい液は滅菌綿棒で拭い、綿棒を指定容器(容器番号49)に入れて、室温でご提出下さい。本検査方法ではコンタミネーションの影響が大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。	

※その他の検査要項に変更はございません。